《令和４年　運営推進会議における評価》

【事業所概要】

法人名	有限会社　在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護　ふくふく能見台
所在地	（〒　236　－　0053　） 横浜市金沢区能見台通８－８　能見台駅前ビル３階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・住み慣れた地域で最期までその人らしい生活を送ることができるよう支援して参ります。

・ご利用者様のニーズに対して、24 時間 365 日、臨機応変・迅速・柔軟なサービスで在宅生活の支援を行います。

・医療ニーズのある方はもちろん、様々な状態・病状の方たちの在宅療養の支援とともに、介護者・ご家族を含めた総合的な支援を行います。

・事業所内の各職種間の連携とご家族・主治医・医療機関・地域包括支援センター・地域の自治会・民生委員・各事業所の方々・町内の方々との連携を密に行い、信頼していただける地域密着型サービスを見ざし、地域包括ケアの一翼を担ってまいります。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦　２０２２　年　１１月　２日	従業者等自己評価 実施人数	（　１６　）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦　２０２３年　２月　２２日	出席人数（合計）	（　１０　）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（４人）　□市町村職員（０人）　□地域包括支援センター職員（１人）　□地域住民の代表者（２人） □利用者（１人）　□利用者の家族（１人）　□知見を有する者（１人）　□その他（０人）		

[ここに入力]

前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 職員間で業務内容の改善点について月間目標を設定し質の向上を図る。 ② 各職種間での情報共有・情報提供が円滑に行える環境づくりの継続。 ③ 休憩時間の確保、意見交換しやすい環境づくりの継続。 ④ 防災委員を中心とし事業所に適した対策検討と実施。	① 改善すべき内容についてミーティング内で話し合い月間目標を設定し目標達成を目指した。 ② ミーティングノートを活用することでミーティング時に不在であっても情報共有することができた ③ 昨年と同様に担当表に休憩時間を明記した。 ④ 備蓄品の保管場所を室内に移動し整理をした。	① 目標設定をすることで事業所内での改善すべき内容がより具体的に理解し達成に向けた行動をすることが出来た。 ② 公休日等の不在時でも出勤時にミーティングノート内容を確認し情報の共有を行った。 ③ 業務担当表に各自の休憩時間が設定しているので気兼ねなく休憩をとる事ができた。 ④ 新人スタッフ、防災関連に熟知していないので個別の伝達や指導が必要である。
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	① 利用者、家族の状況を把握し個別性のあるサービス提供の実施。 ② 社内研修、外部研修の積極的な参加と伝達講習により、統一した質の高いサービス提供を行う。	① 連絡ノートを活用し家族との情報共有に役立てた。家族からの依頼や意見が記載されていることもありその内容について個別対応を行った。 ② 研修委員により積極的に研修参加を呼び掛けた。喀痰吸引等の外部研	① ナースリーダーを配置することで利用者や家族の状況をより具体的に把握することが出来た。 ② 事情により研修参加が難しい時は、Zoom で研修に参加することができた。

[ここに入力]

			修にも参加した。	
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 地域の医療機関、地域ケアプラザ、各事業所との関係構築。 ② 緊急時、職員が統一した対応ができる体制づくりの継続。	① 新規利用の問い合わせや既存の利用者の情報交換を密に行った。 ② 緊急時、連絡を受け各職員が迅速に対応した。	① 新規利用者の情報を事前に共有することができた。地域の医療機関との連携により既存の利用者の状態変化もこまめに情報を更新し把握するこができた。 ② 夜間帯でわからないことや不安な時の連絡体制は確立できている。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①看護小規模居宅介護事業所としての役割を理解し医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れていく ②地域の方に看護小規模居宅介護事業所を理解してもらうために積極的に地域活動に参加する。	① 医療ニーズの高い方からの問い合わせがあった場合に情報収集を行いどのような対応が可能であるか話し合い積極的に受け入れた。 ②コロナの影響により地域活動が激減していた。	① 事前情報を共有することで想定される状況になった時の対応に関しても話し合うことができた。 ② 情報が少なく積極的な地域活動を行うことができなかった。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		① 在宅生活を安心して維持できるよう質の高いサービス支援の維持。	① 医療ニーズの高い利用者と家族が安心して在宅生活を送れるようい つでも連絡、相談が出来る体制を構築した。	① 24 時間の細やかな対応を行った。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

[ここに入力]

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 目標設定をすることで事業所内の改善すべき課題が各自より具体的に理解する事ができた。 ② 出勤時にミーティングノートの内容確認を行うことが習慣化された。 ③業務担当表に各自の休憩時間を設定した事で気兼ねなく休憩をとることが出来ている。 毎朝のミーティング内で不明点や不安な事がある場合にはその場で発言する事で問題解決を図れている。 ④備蓄品の保管場所を室内に変更し整理整頓を行った。新入職員への伝達が完全にはできていない。	○業務内容の改善に向けて全職員で話し合い目標（長期・短期）を設定することでより良い事業所運営を行う。 ○看護と介護での情報共有と情報提供を円滑に行いケアの方向性を統一する。 ○職員間の協力により休憩時間の確保と過剰な不可がかからないような勤務体制の構築。 ○ヒヤリハット報告の検討を行い事故防止につなげる。 ○防災委員を中心とした訓練の実施と事業所に適した具体的な対策を検討し、新入職員への伝達指導を定期的に実施する。
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	① 利用者・家族の状況を理解し個別性のあるサービス提供につながった。 ② 社内研修に積極的に参加する職員が限られていたが外部研修には、年間計画に沿って参加した。	○利用者、家族の個別性に柔軟に対応できるよう関係性を構築し在宅生活を安心して過ごせるサービス提供を行う。 ○専門的で質の高いサービスを提供するために社内研修の重要性の理解を促し参加率の向上を目指す。
	２．多機関・多職種との連携	① 関係機関と積極的に関わりをもち情報共有することがで	○関係機関との連携をとり全職員が地域の中での役割の理

[ここに入力]

	（評価項目 28～31）	きた。 ② 緊急時の対応の流れは概ね構築されてきているが新人職員への指導は必要である。	解を深める。 ○緊急時の対応について全職員が情報を共有し対応ができる体制を構築する。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①看護小規模多機能型居宅介護事業所として役割を各職種が理解し医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れた。 ②コロナ渦により地域活動が激減していた。	○看護小規模多機能型居宅介護事業所としての役割を理解し医療ニーズの高い利用者を受け入れ体制の維持。 ○地域在住の方への後方支援としての地域活動を行っていく。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		① 在宅生活を安心し穏やかに過ごせるよう支援を行った。	○医療ニーズの高い利用者が家族と共に住み慣れた地域での生活を維持できる支援が行える体制の維持。

■ 評価表［事業所自己評価］

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
①　看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	8	7	1	0	看護小規模居宅介護事業所の機能を理解し地域に貢献している。 きめ細やかな支援を行っています。 柔軟性をもった対応で助かっている。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		［具体的な状況・取組内容］ ・医療ニーズに対応している。 ・医療ニーズに合わせご本人、ご家族に応じた在宅支援ができている。 ・本人や家族に寄り添い、要望に応じるようにしている。 ・年々、医療ニーズの高いご利用者が増えご本人とご家族に合わせたプランで看多機ならではの支援を行っている。 ・本人、家族の希望にできる限り寄り添い住み慣れた地域で生活を続ける事が出来てる。 ・各利用者に合わせた支援を心掛けている。又、過剰な支援をしない様にして見守っている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		・連絡ノートを活用し家族との情報共有に役立て継続したケアを実践している。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	5	11	0	0	季節ごとにイベントがあり楽しみにしている。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者が楽しんで過ごして頂けるようスタッフ全員が配慮出来ている。 ・理念に基づいたケアを実践している ・毎朝のミーティングで理念を全員で確認、意識し率直に意見交換をしている。					
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

[ここに入力]

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における
意見等</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よく
できている</th><th>おおよそ
できている</th><th>あまり
できていない</th><th>全く
できていない</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している</td><td>2</td><td>12</td><td>2</td><td>0</td><td rowspan="2">研修内容は充実していると思う。</td><td rowspan="2">✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します
✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」
✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・社内研修やケースによる話し合いの場を設け質の高いサービスが出来るよう努めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td rowspan="2">専門的な研修を受けることでスキルアップに繋げてほしい。</td><td rowspan="2">✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・喀痰吸引の研修や社内研修の参加により専門職としての技術向上を図っている
・コロナ禍と時代の変化もあり zoom でも社内研修に参加可能となった。
・技術向上の為、研修や学びの場に参加できている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">① 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保</td><td></td></tr>
</table>

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	8	8	0	0	ナースリーダーを配置したことはとても良いことである。職種間での連携が深まると思う。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・毎朝のミーティング時に利用者の情報共有を行いケアの方向性を統一している。 ・不明点は都度確認、相談をしている。 ・ナースリーダーを配置することで報告・連絡・相談の機会が増えた。 ・ミーティングを活用し利用者の状態変化等タイムリーに職員間で情報共有できている。					
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた	3	12	1	0		✓ 「得られた要望・助言等のサ

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	**[具体的な状況・取組内容]** ・具体的に要望があれば調整し実行している。 ・会議で得られた情報は必ず職員間で共有できる体制になっている。				継続を望む	ービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
②	職員が安心して働くことができる就業環境の整備						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	5	11	0	0	働きやすい環境づくりはよいケアを提供するために必要であるので継続していただきたい。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・身体や精神面で過剰な負荷がかからないような勤務体制を組んでいる。 ・日勤、夜勤で相談し協力が出来るようになってきている。 ・働きやすい環境や相談・発信してもらえるよう努めている。 ・安心して働くことができている。					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	○ 利用者等の情報につい	5	11	0	0	状態や状況など日々変化	✓ 「情報の随時の更新」と「職員

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	て、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	**[具体的な状況・取組内容]** ・ミーティングノートを活用し日々の情報更新を行っている。 ・医療の専門的な事は看護師が記入することで理解しやすくなった。 ・常に最新の情報が共有されている。 ・利用者の状況変化によりサービス内容を変更し迅速に共有できるよう口頭での申し送りやミーティングノートに記載している。				する内容を迅速に更新することは大事であるので継続して欲しい。	間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
（5）安全管理の徹底							
①	各種の事故に対する安全管理						
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	6	10	0	0	事故の傾向と課題を分析し事故防止につなげて欲しい。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられま
		[具体的な状況・取組内容] ・事故発生後に内容を共有し対策を検討する機会を設けている。 ・事故内容を振り返り再発防止をしている。 ・ヒヤリハットや事故発生時は、職員					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		間で共有し周知徹底を実施している。 ・ヒヤリハットを参考に危険予知活動に力を入れている。					す
③	災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	5	10	1	0	今後、大きな災害が想定される中、繰り返し訓練をする事が大切である。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・災害時の備蓄品を防災委員が中心となり確保している。 ・年2回の防災訓練を行い振り返り重視し改善に努めている。 ・防災委員会に参加し積極的に活動している。 ・緊急時の対応について研修を実施している。 ・契約時に災害時の対応について説明をしている。 ・職員間で具体的な対応法が共有できている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
①　利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	6	10	0	0	包括的な支援をお願いしたい。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・24 時間、適宜連絡対応できている。 ・家族の介護力や負担等にも着目しアセスメントを実施している。 ・介護状況によって泊りだけでなく夕食を食べて帰宅する等、柔軟な対応をしている ・利用者とコミュニケーションを図り普段の生活を想定した対応をしている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	4	12	0	0	看護多機能の強みを生かした支援を望む	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、そ
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングでの共有が行われている ・夜勤帯の様子は小さなことでも管					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		理者・看護師・ケアマネジャーに報告している。 ・各専門職の視点を共有しその人らしい生活ができるように計画的に実践している。					の後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
④	利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	4	12	0	0	利用者・家族のニーズに合わせた支援を継続して欲しい。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、家族の思い、要望が大切にされている。 ・多職種連携し目標に向け実施している。 ・利用者、家族の意向に寄り添った計画実行ができている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	6	10	0	0	在宅生活で、できる限り残存能力を生かした生活が維持できるよう支援してほしい	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・ＡＤＬの変化に常に対応している。 ・残存機能を活かすように努めている。 ・自立支援を大切にした介護の実践を職員間で認識し実践している。					
⑤	利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成						
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	5	11	0	0	リスク管理への取り組みの継続を望む。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・状況変化を予測し早めに対応している ・各専門職がリスクや予後予測を実施し職員間の気づきを迅速に共有し計画的に実践できている。 ・考えられるリスクは家族と共有している。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
①	継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映						
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	4	11	1	0	看護多機能としてのチームアセスメントを継続して欲しい。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職として適宜、管理者に報告している ・状況変化への迅速な対応ができている					
⑥	居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映						
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	4	11	1	0	継続を望む。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングで共有している。 ・訪問する事で家族の状況の変化を把握し変化に伴ったケアを提供している。 ・本人、家族の状況変化がないか把握するため定期的に評価を実施している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		・必要に応じ訪問を行い、状況に応じて泊り利用に変更し柔軟な対応をしている					
⑦	利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有						
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	4	12	0	0	主治医との連携が密に行えることで安心できている。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医と連携をとり情報共有をしている ・事業所外の関連機関と連携を図り生活向上ができるように努めている					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供						
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	6	10	0	0	チームケアの実践を継続して欲しい。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担
		[具体的な状況・取組内容] ・状況に応じて業務を分担し柔軟性をもった対応をしている。 ・状況に合わせてフォローし合えるようになってきた。 ・役割分担し効率的、柔軟に対応している。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		・各々の職種が協力しケアしている					や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	7	9	0	0	看護と介護の協働を望む	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・日々、変化する利用者の状況を相互に情報共有し連携している。 ・状態変化に伴い担当者会議やカンファレンスを実施し情報共有できるように努めている。					
⑧	看護職から介護職への情報提供および提案						
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	14	0	0	継続を望む。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングノートや夜勤時の申し送りで情報を受けている。 ・夜勤時の緊急時対応においては、早めの予測、指示を受けたいと思う事がある ・看護目線で着目した事を提案や助言を職員間で共有し連携を図ってい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		る。 ・新規の開始前より病状の注意点等しっかりと情報共有し安心して迎え入れる準備をしている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
①	利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供						
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	11	0	0	不安解消につながる対応の継続を望む。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・声掛けの工夫や、声のトーンをかえ分かりやすい言葉でゆっくり説明するように努めている。					
⑨	利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明						
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	12	0	0	わからないことや不安な時に相談に乗ってくれて安心している。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・留意すべき点や共有しておきたい事柄は見学や契約時に説明している。又、わからない事があった際はその都度説明している。					

[ここに入力]

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における
意見等</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よく
できている</th><th>おおよそ
できている</th><th>あまり
できていない</th><th>全く
できていない</th></tr>
<tr><td>24</td><td>○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている</td><td>5</td><td>11</td><td>0</td><td>0</td><td rowspan="2">家族が行う医療処置は不安な事が多いので継続した対応をお願いする。</td><td rowspan="2">✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td colspan="5"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・在宅でのケア方法を自宅に訪問し指導助言を行っている。
・本人や家族がわかりやすい様に説明指同意が得られるように努めている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">⑩ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有</td><td></td></tr>
<tr><td>25</td><td>○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している</td><td>4</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td rowspan="2">急な依頼や変更に対応してくれ助かっている。

本人・家族の意向を常に確認してくれる。</td><td rowspan="2">✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td colspan="5"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・本人、家族と信頼関係を構築し可能な限りの対応をしている。
・意向や思いに寄り添ったサービス提供に努めている。
・主治医を含めた話し合いの場を持ち不安の軽減に努めている。</td></tr>
</table>

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	3	13	0	0	在宅生活でのリスクを考えた助言により家族内でも検討している。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・リスクの予想をよく検討している。 ・専門職の立場から予測したリスクをわかりやすく理解ができるように説明している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	3	13	0	**0**	家族へのグリーフケアも大切であるので引き続きお願いしたい。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・ご家族の不安感を軽減できるよう経過説明と日々の状況報告をこまめに行っている。 ・時系列に経過を記録している。 ・主治医からの説明について記録し本人、家族の意向を伺い記録に残している					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
①	病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行						
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	7	9	0	0	退院前に話し合いの場を設けることで家族は事前準備が行える。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・退院前のカンファレンスに参加し状態把握をしている。 ・カンファレンスの参加や情報収集の為連携し意向確認し改善方法やケアの方向性を共有している。					
⑪	入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	10	0	0	今後も取り組んでほしい	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要
		[具体的な状況・取組内容] ・意向を確認し主治医と共有し情報交換をしている。 ・主治医と常に連携をとっている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							です
⑫	地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	6	10	0	0	継続して欲しい。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・24 時間の緊急時連絡体制が整備されている。 ・急変時に即対応ができるよう緊急連絡ファイルがある。 ・主治医と連携し受け入れ病院等の体制構築ができている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
①	運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センタ	4	9	3	0	今後も連携は重要なのでお願いしたい。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を
		[具体的な状況・取組内容] ・包括的なケアができるよう運営推進会議で意見を頂き反映している。 ・地域の活動状況がわかる意見交換					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	一・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	が行われている。					行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
①	サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信						
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	11	1	0	職員への周知の継続を望む。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・記録ファイルをどの職員でもみる事ができる場所に保管している。 ・記録は、閲覧できるようにファイル					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		にまとめ職員が共有できるようにしている ・会議で話された内容について報告されている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	6	8	0	今後、地域活動も少しずつであるが、活発になってくるので情報提供をする。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・コロナ禍でもあり積極的なかかわりは難しかった。 ・コロナにより地域交流の場が少なくなってしまった。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	5	11	0	0	事業所の負担のないようにお願いしたい。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してく
		[具体的な状況・取組内容] ・外部からの依頼等の受け入れも行っている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							ださい ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
⑬	医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ						
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	7	0	0	積極的に研修に参加し体制を整えていると思う	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よ
		[具体的な状況・取組内容] ・体制が整っており積極的に受け入れている。 ・介護職員も研修に参加し技術、知識向上に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							くできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	11	4	0	今後も体制の維持を望む。	✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極
		[具体的な状況・取組内容] ・現在対象者はいないが、受け入れ体制はできている。 ・受け入れ体制はできているが、職員の技術の習得と知識を深める事が必要である。					
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	7	0	0	不安の大きい在宅での看取り支援を継続して欲しい。	✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価
		[具体的な状況・取組内容]					
		・受け入れ体制が整っており、積極的に受け入れている。 ・役割を理解し遂行出来ている。 ・本人、家族の希望に合わせた対応が出来ている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	3	13	0	0	地域包括ケアシステムの役割として連携を望む。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・看多機の地域での役割について考えながら取り組み支援している。 ・地域包括ケアについて意識して理解できるように努めている。 ・看多機としての役割を地域の方に理解して頂けるよう努めている。					
⑭	サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	7	9	0	0	継続を望む。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在
		[具体的な状況・取組内容] ・長浜方面の利用者が増えサービスの地域が広がっている。 ・地域エリア内外ともに積極的にサ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		ービス提供を実施している。 ・送迎時間等、利用者の負担を考慮して対応している。					宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
⑮	安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	2	9	4	1	今後の課題である。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていな
		[具体的な状況・取組内容] ・必要に応じた提案は行っている。 ・地域と協力し避難訓練を実施している					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							い」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	3	11	2	0	現状維持でよい。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		［具体的な状況・取組内容］ ・家族に対しての取り組みはなされているが、近隣住民に対しては実施していない。 ・介護力の把握と介護者の不安要素について情報収集し、不安なく介護ができるよう支援に努めている。					

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている　(9) ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている　(7) ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている　(0) ４．利用者の１/３には満たない(0) **[具体的な状況・取組内容]** ・要望を大切にしている。 ・寄り添ったケアの実践や目標に向けて計画的に実施し評価、見直しを行っている。 ・個々に合わせた柔軟な対応ができている。	自己評価も達成率が高い。これからも継続して欲しい。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている　(11) 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている　(5) 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている　(0) 4．利用者の1/3には満たない(0) ［具体的な状況・取組内容］ ・細やかな報告、連絡、指導、24時間の連絡体制によって特にこのコロナ禍においては、充分に行っている。 ・状態変化、急変時に迅速に対応ができている。	医療ニーズの高い利用者・家族が安心できるようきめ細やかな対応を継続して欲しい。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている　(12) 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている　(4) 3．利用者の1/3くらいについて、達	よくできている。 家族の精神的な支援を	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された

[ここに入力]

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	成されている　(0) ４．利用者の１/３には満たない(0) ５．看取りの希望者はいない(0) **[具体的な状況・取組内容]** ・24 時間の細やかな対応で安心を提供できている。 ・トータル的サービスを実施することで安心感を得ている。 ・情報を密にすることで安心感が得られている。	継続して欲しい。	「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」